

広域消防発足
40周年記念誌

平成30年版
消防年報



鳥取県東部広域行政管理組合消防局



ごあいさつ

鳥取県東部広域行政管理組合

管理者 鳥取市長 **深澤義彦**

鳥取県東部広域行政管理組合消防局は、昭和53年5月に広域消防として発足し40周年を迎えることができました。

この間、地域の安心安全のために貢献出来たことは、住民の皆様をはじめ、関係各位のご指導・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、近年の社会経済の発展と生活文化の進展により、私たちの日常生活は大きく変貌しました。平成25年には中国縦貫自動車道へ繋がる鳥取自動車道が全線開通し、京阪神と鳥取県東部を結ぶ所要時間が大幅に短縮され、救急車による鳥取自動車道沿線地域の医療機関や岡山県、兵庫県など近県医療機関への救急搬送時間が短縮され住民サービスの向上に繋がりました。平成30年4月には鳥取県東部の中心都市である鳥取市が中核市へ移行し、これと同時に鳥取県東部に兵庫県新温泉町を加えた1市5町により形成された「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」においては、圏域全体が活力ある地域として発展し、さらに充実した住民サービスを持続的に提供していくことを目指した取り組みがスタートしました。

また、平成30年7月に西日本で発生した豪雨をはじめ、近年、全国各地で大規模な災害が発生し、自然災害の脅威を痛感させられているところです。このような中、消防に課せられた使命は一段と重要性を増し、地域住民の消防に寄せる期待はますます大きくなってきています。これら時代に即応するため、消防車両、資機材の更新整備、消防庁舎の整備など消防力の充実強化に努めて参りました。

このように、消防を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民のニーズを的確にとらえ、信頼と期待に応えられるようこれまで以上に精進して参りたいと考えております。

今後とも、地域の安心安全のため消防行政へ住民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。



祝 辞

鳥取県東部広域行政管理組合議会
議長 下村佳弘

鳥取県東部圏域の常備消防は、昭和53年5月1日に鳥取県東部15市町村が組織する広域消防として発足し、平成16年11月の鳥取市の1市8町村の合併、平成17年3月の3町合併による八頭町の誕生を経ながら、今年で40周年を迎えることとなりました。この間、火災、救急、救助など各種災害の対応などの重要な役割を担い、圏域住民の安心・安全を確保するよう努めてまいりました。

これらの活動により、圏域住民の信頼を集め、地域に溶け込み、愛される広域消防として、今日まで発展を遂げてきたところです。これもひとえに、圏域住民の皆様をはじめ、関係各位の御支援、御協力とともに、職員の皆様が不断の努力を重ね、献身的に消防業務に精励されてきた賜物であると、心より敬意を表する次第であります。

近年の日本は、平成23年の東日本大震災をはじめとし、平成28年の熊本地震、平成30年7月豪雨など、想像を絶する自然災害の猛威により、多大な被害をもたらしています。東部消防局もこれらの被災地へ消防援助隊として多くの職員を送り出しています。鳥取県東部においても、連日に亘る猛暑日や一夜にして1メートルにも及ぼうかという降雪、集中豪雨による河川の増水や土砂災害など、日常生活の中にも救急・救助活動が必要となる状況が増えています。

今後も、圏域住民の命を守るという崇高な使命のもと、複雑多様化する各種災害と消防に対するニーズに的確に対応し、圏域住民の生活の安全・安心を守る活動が、常備消防にますます期待されているところです。

この度の「40周年記念誌」の発刊は、これまでの歩みを振り返り、貴重な経験や教訓を忘れることなく、次の時代に繋げるためにも誠に意義深いものと考えます。

私も組合議会も、地域住民の安心安全確保のため、組合消防の一層の発展と充実に努力することを約束し、発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。



40周年記念誌発刊にあたって

鳥取県東部広域行政管理組合
消防局長 中谷隆人

このたび、鳥取県東部広域行政管理組合消防局が昭和53年5月に発足して、40周年という記念すべき日を迎えられましたのは、一重に組合議会をはじめ地域住民の皆様のご指導とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

さて、広域消防発足当時は1市14町村で構成され、平成17年の市町村合併を経て、現在では1市4町の新たな構成市町となり、組織は1局5署6出張所1分遣所体制のまま、平成25年度の消防職員定数条例の見直しによる増員計画のなかで指揮支援隊の運用を開始しました。また、消防施設等では指令センターの更新、更には老朽化した鳥取消防署東町出張所の整備及び今後の庁舎整備計画の策定、消防車両の更新など、あらゆる災害に対処するため消防体制の充実強化を図りました。

この間、諸先輩各位及び関係者の皆様の熱意とひとかたならぬご努力によって、多くの困難を克服し地域住民の期待に応えるべく、消防組織として発展してまいりました。

広域消防発足40周年を節目としまして、まだ記憶に新しい「東日本大震災」「熊本地震」「平成30年7月豪雨」等、全国各地で多くの災害が発生し、自然災害の脅威を痛感させられたところです。更には近い将来、発生が危惧される南海トラフ巨大地震をはじめ、大災害の発生には予断を許さないところであります。このような中、地域住民の消防機関に寄せる期待に応えるため、先人の足跡を基盤として、更なる発展を見据えて的確な施策を展開し、地域の安全・安心を目指し災害に強い東部広域圏づくりを職員一同全力で取組んでいく決意であります。

終わりに、関係各位の一層のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、この記念誌を広く地域住民の皆様を紹介し、消防活動の重要性をご理解いただけますことを願いたし発刊のご挨拶といたします。

目次

ごあいさつ	管理者 鳥取市長 深澤 義彦
祝 辞	議会議長 下村 佳弘
40周年記念誌発刊にあたって	消防局長 中谷 隆人
現在の特別職員	1
歴代の議長・管理者・副管理者・消防局長	2
位置と地勢	5
鳥取県東部広域行政管理組合管内の概況	5
鳥取県東部広域行政管理組合構成市町の紹介	7
広域消防の沿革	10
鳥取県東部広域行政管理組合消防組織図	48
事務分掌	49
相互応援協定	52
緊急消防援助隊	54
消防局警防課指揮支援隊	59
無人航空機（マルチコプター）	60
消防職員・庁舎等写真	62
消防車両	79
制服等の紹介	85
消防カレンダー	86
平成30年版消防年報	91

